



健康医療科学部 看護学科 2024年度 父母説明会・個別相談

ご多忙のところ、ご出席いただき、ありがとうございます。

2024.9.14(土)



本日のプログラム

司会：学生部委員長 西田

説明会 10:30～12:30

1. 大学からの挨拶 学部長 馬嶋正隆
2. 学科長挨拶 学科長 新実絹代
3. 学科概要 学科長 新実絹代
4. 履修・成績 教務委員長 濱邊富美子
5. 学生生活 学生部委員長 西田幸典
6. 臨地実習 実習委員長 奈良唯唯子
7. 国家試験対策 国家試験対策委員長 田代誠
8. 就職支援 キャリア就職委員長 前山直美
9. 質疑応答
10. アンケート

個別相談 13:00～



看護学科長挨拶

新実絹代

◆看護学科の教育

・教育目的

・育てたい卒業生の特性と能力

・看護大学生としての基本的態度の育成

◆後期の学科運営

◆後期に向けた各学年の取り組み



近代看護の先駆者
F.Nightingale(1910年90歳没)

看護学科の教育目的

看護師として必要な専門的知識と実践能力を身につけ、他の医療関係職種と連携・協働して、地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することのできる人材を育成する。

◆開設10年目(2015年設置)

1回生～6回生 395名が卒業

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)
カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

1. 知識・リテラシー

- ・看護専門職として、その専門分野における基本的な知識・技能を体系的に理解している。
- ・看護専門職の素養としての理数・情報分野の基礎知識とリテラシーを理解する。また、人間や社会、多様な文化に関する基礎知識を修得している。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)
カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

2. 課題解決力

- ・看護学分野に関する基本的な知識と基本的な技術を応用・発展させて、看護学の進歩に対応しつつ看護や人々の健康に関連した問題を発見・解決して、新たな価値を生み出すことができる。
- ・看護や人々の健康に関連した様々な現実的課題に対して、どのような状況下においても専門知識・技術を活用し、専門職としての責任を自覚して、課題を解決することができる。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)
カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

3. 学修に向き合う力、看護専門職としての人間性

- ・看護専門職として主体的、自律的に活躍するためのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、また他の保健医療福祉職と連携・協働する力を身につけている。
- ・看護専門職として期待されている自分の役割を把握し、行動することができる。また、看護専門職としての職業倫理を理解し実践することができる。

育てたい卒業生の特性と能力

育てたい卒業生の特性	抽出した能力
1. 人間の生命の尊厳を守り、対象者の立場を尊重する行動や態度をとることができる	「人間の尊厳」 「倫理」 「対人関係」 「多様性理解」 「問題解決力」 「論理的・創造的思考力」 「自己認識力」
2. あらゆる健康レベルにある人のQOLを高めるために、看護倫理や技術を応用して援助できる	
3. 看護の対象と援助的人間関係を形成し、相互行為を行いながら看護を実践できる	
4. 保健医療システムの中で看護専門職としての責務を認識し、チームの一員として、多職種と協働できる	
5. 生じている現象に深い関心を寄せ、科学的根拠に基づき、柔軟な思考力を発揮して、積極的に問題解決に取り組むことができる	
6. 看護専門職として、自分自身を貴重な資源として最大限に生かせるようにセルフマネジメントができる	

2022年度～看護学科カリキュラムマップ



看護大学生としての基本的態度の育成

	1年次	2年次	3年次	4年次
責任役割意識	看護大学生としての自覚がもてる。	看護大学生としての責任・役割を意識した行動がとれる。	看護大学生としての責任・役割行動がとれる。	看護専門職の責任・役割行動がとれる。
セルフマネジメント	健康管理ができ履修に支障をきたさない。	ルール、約束を遵守し、責任ある行動がとれる。	ストレスコーピングをポジティブに行い物事に取り組める。	看護職に必要な自己コントロールができる。
コミュニケーション	対人的マナーの基本に基づいた行動がとれる。	アウトプットコミュニケーション、インプットコミュニケーションができる。	学生間、関係者間で情報共有し、目的に沿った意見交換ができる。	学生間、関係者間での連携、協調ができ相互啓発ができる。
看護観・倫理観	看護の機能や役割が明確にできる。	看護師に必要な資質や能力が明確にできる。	看護実践における看護職の役割・責任が明確にできる。	目ざす看護師像、自己のキャリア設計が明確にできる。

看護師の自律の定義（古賀） （看護セルフマネジメント論科目で提示）

- 「①患者擁護の役割として②看護実践において自己決定をもたらす行動する能力であり、適切な③感情コントロールとの統合により成熟しながら、専門職としての価値づけとなるような④他者および自己への尊重による⑤エンパワメントの相互作用として発揮される」

①アドボゲータ（対象者の代弁者）

⑤エンパワメント：力を与えることや自信をつけさせること

後期に向けた学科の取り組み

- ・コロナ感染症は感染症分類の5類であるが、感染防止策は継続し授業に対応
- ・臨地実習においても、感染防止を徹底した上で受け入れ施設の状況により実施
感染しない・感染させない、2週間前の健康管理行動は同様である
- ・臨地実習前にPCR検査を求められる施設もあるが、大学予算で対応している

後期に向けた各学年の取り組み

1年次生： 前期早期体験実習を終え、後期は専門基礎、専門科目↑
形態機能学⇒疾病と治療⇒看護学につながる
看護大学生として学びの姿勢、
毎日の学習習慣、学習方法が重要となる

2年次生： 前期基礎看護学実習を終え、専門科目↑
初めて患者さんを受け持ち看護実践を経験⇒
☞看護学の学びを究めていく決意↑
☞不足を感じた知識・技術・態度を修得
☞ハードルを乗り越えた力(レジリエンス)が今後につながる

後期に向けた学科状況と各学年の取り組み

3年次生： 9月～2月の長期臨地実習開始

連続実習となり、健康管理、時間管理、学習時間の確保が重要な目的意識の元、継続的な努力が必要とされる

4年次生： 看護研究発表、国家試験受験、進路決定と卒業準備

- ・国家試験合格は、学習の積みかさね、臨地実習での判断力が問われ受験まで地道に取り組むことが重要
- ・就職内定した時点で、就職先に対する責任が生じている
- ・4月1日から社会人、新卒看護師、新卒保健師としてスタートできるように卒業後も自重した生活が必要

・看護の仕事は、

「人々が健康的な生活を営み、その人らしく生きることを支援すること」です。

・専門的な知識・技術とともに、他者を思いやる気持ちや優しさ等
人間力ともに多くの能力が求められます。

・4年間の学習は、ハードルが高く努力を要しますが、それをクリアされた時には、大きく成長されることと思います。

・学生の皆さんが、前向きにハードルに向き合えますように
保護者の皆様の暖かくも厳しいご支援をお願い致します。





学科履修に関する説明

看護学科
教務委員長 濱邊富美子

✓内容

1. カリキュラムの全体像について
2. 卒業要件および国家試験受験資格について
3. 履修に関する注意点について
4. 実習の時期と履修要件について
5. 成績表の確認にあたって
6. 保護者の皆様へ



✓看護学科の教育目的

看護師として必要な専門知識と実践能力を身につけ、
他の医療関係職種と連携・協働して、
地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することの
できる人材の育成

✓カリキュラムの全体像（新カリキュラム）

1. 共通基盤教育

大学での学修や卒業後の
社会生活に必要な教養

- 導入系
- 倫理系
- 人文社会系
- 健康・スポーツ系
- 英語基礎系
- 言語応用系
- 数理情報系

2-1. 専門基礎導入

基礎的な知識の習得と科学的な見方・考え方に必要な科目

- *看護のための数学基礎
- *看護のための生物・化学基礎
- *看護のための人間工学 など

2-2 専門基礎科目

健康・疾病・障害に関する観察力や判断力を修得するための科目

- *人体の構造機能・疾病と回復促進
- *健康支援と社会保障制度

3. 専門科目

看護師として必要な専門的知識と能力を学修する科目

- *看護の基本
- *地域における看護活動
- *人間の発達段階と看護活動
- *看護研究
- *公衆衛生看護学

✓卒業要件および国家試験受験資格①

■看護師国家試験受験資格

4年以上在籍し、**124単位**を修得すること

■保健師国家試験受験資格

2021年度生以前：4年以上在籍し124単位を満たし指定科目を含んだ合計**133単位**を修得すること

2022年度生以降：4年以上在籍し124単位を満たし指定科目を含んだ合計**136単位**を修得すること

✓卒業要件および国家試験受験資格②

■2022年度生以降

教育区分	必修別	卒業必要単位数	17	124
共通基盤教育	導入系 必修 1 倫理観 必修 2 人文社会系 必修 2 健康・スポーツ系 選択 1 英語基礎系 選択 2 英語応用系 必修 5 数理情報系 必修 2 選択 2	17		
専門基礎導入・専門基礎教育科目	専門基礎導入 必修 4 人体の構造機能・疾病と回復促進 必修 19 健康支援と社会保険制度 必修 5 選択 1	29		
専門科目	看護の基本 必修 14 地域における看護活動 必修 7 人間の発達段階と看護実践 必修 53 看護研究 必修 3 高齢者看護学 必修 1 選択 2	78		

■2019年度生～2021年度生

教育区分	必修別	卒業必要単位数	17	124
共通基盤教育	導入系 必修 1 人文社会系 必修 2 健康・スポーツ系 選択 1 英語基礎系 選択 2 英語応用系 必修 5 数理情報系 必修 2 選択 4	17		
専門基礎導入・専門基礎	人体の構造機能・疾病と回復促進 必修 19 健康支援と社会保険制度 必修 6 選択 4	29		
専門教育	看護の基本 必修 16 人間の発達段階と看護活動 必修 38 看護の統合と発展 必修 15 看護研究 必修 4 公衆衛生看護学 必修 1 選択 4	78		

✓カリキュラムの積み上げ

共通基盤・基礎導入・専門基礎科目

看護の基本
基礎看護学・看護のための人間工学

看護の統合・発展
看護研究



人間の発達段階看護活動
成人・小児・母性・老年・精神看護学

専門科目

✓科目の種類と1単位の基準数

講義科目…100分授業14回で2単位（7回で1単位）

※授業外学修…予習（事前学修）と復習（事後学修）にそれぞれ100分程度の学修が期待される

演習科目…100分授業14回で1単位

※授業外学修…予習（事前学修）と復習（事後学修）にそれぞれ50分程度の学修が期待される

臨地実習…臨地45時間で1単位

※1週間（1日9時間、月～金の5日間）
※授業外学修15時間～20時間が期待される

※自ら積極的に授業外学修を行うことが必要！！

✓単位認定資格について

◎講義・演習の場合

授業回数の2/3以上出席していること

◎実習の場合

実習日数の4/5以上出席していること

✓出席管理・単位管理は学生の責任です

◎学生への指導内容

- ◆ カードリーダーのタッチを確実に行ってください。
- ◆ KAIT Walker から毎日出席状況を確認してください。
- ◆ 体調不良や諸事情により、止むを得ず授業・試験・大学行事などを欠席する場合、早急に科目責任者、担任にメールで連絡をし、その後の対応について指示をうけてください。

カードリーダーによる出席状況により、試験受験資格の有無を判断されます

保護者ポータルサイトから、出席状況を確認することができます

✓履修に関する注意点

- ① 単位未修得科目は下位年次配当科目から履修する。
- ② 同曜日、同時限では1科目の受講しか認められない。
1コマでも不合格科目の再履修と重複する場合は、履修を認めない。
(履修規程第7条)
- ③ 不合格となった必修科目はその翌年に再履修しなければならない。
新たに履修を希望する科目と再履修必修科目が時間割上、重複する場合は再履修必修科目を優先して受講すること
- ④ 1年次・2年次開講の必修科目の単位をすべて修得していなければ、3年次の科目を履修することはできない。

✓実習の時期と履修要件

看護師

- ・早期体験実習 : 1年前期 (新カリキュラム)
- ・基礎看護学実習 : 2年前期 (新カリキュラム)
- ・老年看護学実習 I ・小児看護学実習 I : 2年生前期 (新カリキュラム)
- ・各専門領域実習 : 3年生後期～4年生前期
- ・看護統合実習 : 4年生後期 (新カリキュラムは4年生前期)

保健師

- ・産業・学校看護学実習 : 4年前期
- ・公衆衛生看護学実習 : 4年生後期

※各実習には履修要件があります。

要件となる科目が修得できていないと履修資格はありません。

✓成績表の公開

成績表公開日（看護学科）：2024年9月6日（金）

- ◎成績原簿（入学から2024年度前期までの成績表）が保護者ポータルサイトで公開されます。
- ◎今年度前期のみの成績表は、学生のポータルサイト（KAIT Walker）で確認することができます。

保護者ポータルサイトへのアクセスに必要なID・パスワードを紛失された方は、教務課までお問合せください

学業成績表(原簿) → 学業成績表(原簿)

現在までに付与された成績がすべて記載されています。

【2024前】が今学期付与された成績

成績集計欄

●S/A/B/C/N → 合格
●E/X → 不合格
●評価欄の○は評価中又は（後期）履修中

●必→必修 セ→選択必修
●選→選択科目 自→自由科目

✓GPA

GPA制度（Grade Point Average）

- ◎単位数は成績の学修量を、GPAは成績の質を表わす。
- ◎GPAの算式（不合格科目が多いとGPAは下がります）
合格科目の単位数に
 $S = 4 \quad A = 3 \quad B = 2 \quad C = 1 \quad E \cdot X \cdot D = 0$ の加重点をかけ
総履修単位数で割った数値
- ◎GPAの活用
学科別・年次別各種成績表彰
保健師課程の選考、就職推薦枠の選考等

良い成績で単位を修得することが大切！！

✓保護者の皆様へ

- ◎ 看護師国家試験の受験資格を得る（卒業要件を満たす）ためには、沢山の学習が必要となります。
- ◎ 看護師になるためには、知識・技術だけでなく態度も重要となります。

学生が学業に専念できる支援（体調管理・経済的支援など）
自律性・主体性を育む支援

保護者の皆様とともに支援していきたいと考えております
何卒よろしく願いいたします

～学生生活支援～

学生部委員長 西田幸典

学生生活の充実のために

- 1.看護学科の取組み
(自律性の向上、学習面の強化など)
- 2.看護学科における新型コロナウイルス感染症対策
- 3.アルバイトにおけるリスク
- 4.若者を狙った犯罪への勧誘
- 5.学生の相談窓口

自律性の向上

2023年度から、学生の自律性の向上を目指しています。

<1年生の目標>

・看護大学生として自律するために、学生が自己の責任・役割・学力の強化、倫理に即した行動が意識でき、主体的に取り組むことができる

<2年生の目標>

・看護大学生として自律するために、学生個々の1年次の成熟度に応じて、看護を学ぶ学生としての責任・役割、学力の強化、倫理に則した行動ができる

自律性の向上

2023年度から、学生の自律性の向上を目指しています。

<3年生の目標>

・看護大学生として自律するために、主体的に学習計画を立案し、主体的に学修に関する指導を求めることができ、学習に必要なセルフマネジメントについて課題解決できる
・臨地実習を通して、自己の看護観や対象者に対する役割・責任意識をもてる

<4年生の目標>

・最終学年として、後輩学生の模範となる自律的行動、責任・役割意識、セルフマネジメントができる
・次年度から社会人としてスタートするために、多重課題に対処でき、看護大学生として自律できる

看護大学生の基本的態度の到達目標

各学年ごとに、看護大学生の基本的態度の到達目標を掲げ、教員の指導のもと、学生自ら目標を達成できるように取り組んでいます。

学習面の強化

GPA2.0未満は、国家試験や進級に大きく関連しています。

低学年の時期から毎日の学習習慣が重要と考えています。

GPA2.5以上を目指していただきたい。

学習時間の確保を考慮したうえで、アルバイトを検討していただきたいと考えております。経済的支援をお願いいたします。

課外活動

学習に余裕がある場合は、部活動などの課外活動を通じて、学生生活を充実していただきたいと考えています。

看護学科における新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 2021年度 対面授業、オンライン授業、オンデマンド授業の併用
感染者数 17件(看護学科)
- ・ 2022年度 全面対面授業開始
感染者数 38件(看護学科)
- ・ 2023年度 全面対面授業
感染者数 25件(看護学科)
- ・ 2024年度 全面対面授業
感染者数 6件(看護学科) ※2024年8月20日現在

※2020年度後期から現在までの看護学科内における感染 0件

感染経路 **学外での感染**(家庭内、アルバイト等)
感染防御の指導、三密回避、換気の徹底

看護学科における感染対策

●感染予防行動の徹底

- ・ 学内外を問わず、屋内(バスなどを含む)でのマスクの着用
- ・ 学内外を問わず、三密の回避
- ・ 毎日の検温、体調の管理
※体調が悪い場合は登校せずに、医療機関を受診してください。

アルバイトにおけるリスク

- コロナ禍におけるリスク
 - ・ アルバイトによるコロナ感染のリスク
 - ・ 看護助手のアルバイトのお勧め
- 一般的なアルバイトに関するトラブル
 - ・ 労働契約上のトラブル
 - ・ 人間関係等のトラブル

若者を狙った犯罪への勧誘

- 特殊詐欺への勧誘
 - ・ 高額なアルバイト、楽なアルバイトを売り言葉にした「受け子」の勧誘
 - 薬物（大麻、覚せい剤など）の勧誘
 - ・ 大麻に関連した検挙者の急増
 - ※若者層を中心に、2014年以降、大麻関連の検挙者が急増しています（政府広報）
 - ※大麻クッキー、大麻キャンディ、大麻スナックなど
 - ※大麻使用のきっかけ…「誘われて」（約80%）
 - ※大麻使用の動機…「好奇心・興味本位」（約60%）
- ⇒大麻・麻薬・あへんの中毒者は、看護師免許を取得できません

学生の相談窓口

- 学生相談室（メンタルヘルスサポート）
心や身体のこと、人間関係、学業や進路のことなど
保護者の方からのご相談もお受けしております。
 - ・ 場所：K2号館 3階 ◇開室：月～金曜日 9:00～17:00
 - ・ 連絡：TEL 046-291-3038 E-mail：sodan@kait.jp
- 学生サポート室（学修サポート）
学修面・生活面のアドバイス
 - ・ 連絡：TEL 046-291-3106 E-mail：support@kait.jp
- 健康管理室
 - ・ 連絡：TEL 046-291-3037 E-mail：kenkou@kait.jp

クラス担当教員

高校までの“クラス担任”とは位置付けを異にし、学生個人の指導助言に当たる教員として、クラス担当教員を配置しています。学生を中心にサポートしてまいります。必要時、クラス担任から保護者の方にご連絡することもございます。

<クラス担任の役割>

- ・ クラス懇談会の実施
- ・ 成績配付・面談
- ・ 欠席過多学生へのサポート（欠席が目立つ学生にはクラス担任からメール連絡が入ります）
- ・ 進路変更（休学・退学）の相談

保護者のみなさまへのお願い

- ・家庭内感染の予防にご理解、ご協力をお願いいたします。
- ・学業の時間を確保できるよう、ご家族のご支援をお願いいたします。
- ・感染リスクの高いアルバイトを控えるようご指導ください。
- ・若者を狙った犯罪への勧誘にご注意ください。
- ・ひとり暮らしの場合、お子様の生活や学業の状況に関心を寄せてください。
- ・必要に応じて、相談窓口をご活用ください。
- ・クラス担任から連絡があった際には、ご協力をお願いいたします。

保護者のみなさまのご協力をいただきながら、地域に貢献する看護師を育成したいと考えております。

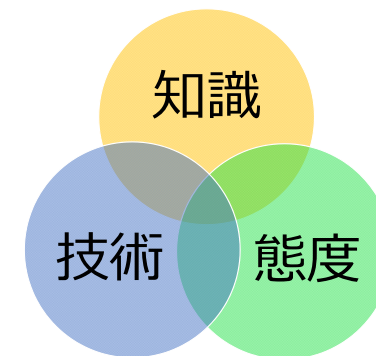
実習関連について

- 看護学実習とは
- 科目と開講時期
- 履修要件
- 感染症対策
- 保護者の皆様へ協力をお願い

実習委員会
委員長 奈良 唯唯子

看護学実習とは

さまざまな看護実践の場に身をおき、あらゆる健康レベルと発達段階にある人々とのかかわりを通して、看護学の知識と技術の統合をはかり、看護の実践能力を養うことを目的としている



実習開講時期

学年	セメスター	各看護学実習科目
1年	前期	早期体験実習
	後期	
2年	前期	基礎看護学実習 小児看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅰ
	後期	
3年	前期	
	後期	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 老年看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習
4年	前期	地域・在宅看護学実習
	後期	看護統合実習

授業の種類と単位数

- 講義・演習の場合：45時間で1単位
学内での講義は、15時間～30時間（大学が定める範囲）
事前事後学習が必要
2/3以上の出席

学習時間		
事前学習 15時間	授業時間15時間	事後学習 15時間
～		
7.5時間	30時間	7.5時間

- 臨地実習の場合：45時間の実習で1単位
1週間（1日9時間：月～金の5日間）
実習は1日約7時間、2時間程度の事前・事後学習が必要
4/5以上の出席

（文部科学省：大学設置基準）

臨地実習の履修要件

- 実習が開講される学期前までに必修科目を修得していなければ、履修することができません。
- 詳細は、履修要綱の「2024年度入学生 実習科目履修要件について」をご参照下さい。

臨地実習での1日の流れ



時間	学生の行動
8:00~	健康状態の確認 更衣後集合 実習目標・行動計画の確認
8:20~	病棟へ移動 手洗い、受け持ち患者への挨拶
8:30~	申し送り参加
9:00~	実習指導者および教員と計画・行動調整
9:30~	看護ケア開始 担当看護師へ報告
12:00~	昼休憩 (食事介助・検査見学により時間が前後する)
13:00~	看護ケア
14:30~15:00	担当看護師へ報告
15:00~15:30	カンファレンス
15:30~16:00	翌日の情報収集 行動計画の確認



実習病院までの行帰りの服装



実習中の服装

3年次から始まる領域実習の一例

9					10				11				12					1				2					
2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	3	10	17	24		
6	13	20	27	10/4	11	18	25	11/1	8	15	22	29	6	13	20	27	1/3	10	17	24	31	7	14	21	28		
領域別 3年生																											
成人Ⅰ(慢性期) 平塚共済					精神 愛光				小Ⅱ 厚木 市立				母性 町田市民				老Ⅱ 東名厚木				成人Ⅱ (急性期) 相模原						

さまざまな施設で臨地実習を行っています

状況によっては、通学に時間がかかる施設に配置になる場合もあります

追実習・再実習について

	内容	要件
追実習	病気その他やむを得ない事由により、 出席時間数が当該実習時間数の5分の4に満たず不合格となった者で、 追実習を希望する者	診断書等 があること
再実習	単位修得に必要な 学習内容が不足して不合格となり、再実習をすることにより単位の修得が見込まれる者で、 再実習を希望する者	当該実習科目責任者の 承認 があること

どちらも実習施設の受け入れが可能であることが条件となる

感染症対策①

- 感染症へのリスク対策として実習に出るためには抗体価があることが求められます。

【必要な予防接種】

麻疹
風疹
水痘
流行性耳下腺炎
B型肝炎
インフルエンザワクチン
コロナウイルスワクチン

学年	対応
1年次	①大学期待による健康診断を受ける ②感染抗体価（風疹・麻疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎）の検査を行い、免疫獲得状況と予防接種履歴により予防接種を受ける ※医療関係者のためのワクチンガイドライン（第2版）に準拠する ③結核検査は「スポット検査」を受ける 胸部レントゲン検査は大学規定による健康診断を受ける ④B型ワクチンは3回接種する ⑤インフルエンザワクチン接種を受けることが望ましい
2年次	①大学規定による健康診断を受ける ②インフルエンザワクチン接種を受けることが望ましい
3年次 又は4年次	①大学規定による健康診断を受ける ②インフルエンザワクチン接種を受けることが望ましい ③指定された時期に便検査（老年看護学実習、小児看護学実習前）を受ける

感染症対策②

- ・ 臨地実習において「**感染しない・させない**」を徹底するため、以下の内容について共通認識し、感染予防対策をしています。
また、遵守できない場合は、臨地実習科目を履修できません。

	対応
感染予防	①渡航・旅行状況、自宅待機中・実習前（最低2週間前）の4状態把握（同居家族等を含む） ②体調管理（検温・自覚症状等）の実施・把握 ③起床時、実習前（実習施設）の検温の実施 ④学生控室の薬機整備 ⑤実習用マスクの持参（2枚/日）、実習地実への往復もマスク着用を徹底 ⑥土日および帰宅時、帰宅後の外出自粛の徹底 ⑦3密排除の徹底 ⑧食事中の会話禁止、食事終了後、すぐにマスク着用、マスク着用時も大声で話さない ⑨カンファレンス時間の短縮 ⑩実習2週間前から実習中のアルバイトの禁止
実習前・中における 体調不良時	①実習前（前日、起床時）の体温測定で37.0℃以上で症状がある、その他体調不良がある場合、教員に連絡し、原則自宅待機とする。また体温が37.5℃以上の場合、症状の有無にかかわらず自宅待機とする ②自宅待機となった学生は実習を中止し、結果を必ず教員に報告する ③学生状況は担当教員から、看護部および地域長へ連絡、地域長は学科長・実習委員長へ連絡 ④自宅待機者が多いグループは、連絡のあった当日は全員自宅学習とする ⑤自宅待機者の状況を見て、翌日より他学生の実習再開とする

保護者の皆様へのお願い

- ・ 生活面でのサポートをお願いします
実習は朝が早く、身だしなみを整えて出かけます
お弁当なども持参したほうが良いでしょう
実習記録や看護技術の確認など、自宅学習を必要とします
→生活環境を整えてください、健康管理もよろしくをお願いします



- ・ 精神面でのサポートをお願いします
実習場では受け持ち患者さんをはじめ、指導者や看護師などとコミュニケーションをとらなければなりません
病院という慣れない環境で、ストレスを感じるでしょう
→話を聞いてください、励ましの言葉をかけてください



2024 年度父母説明会 国家試験について

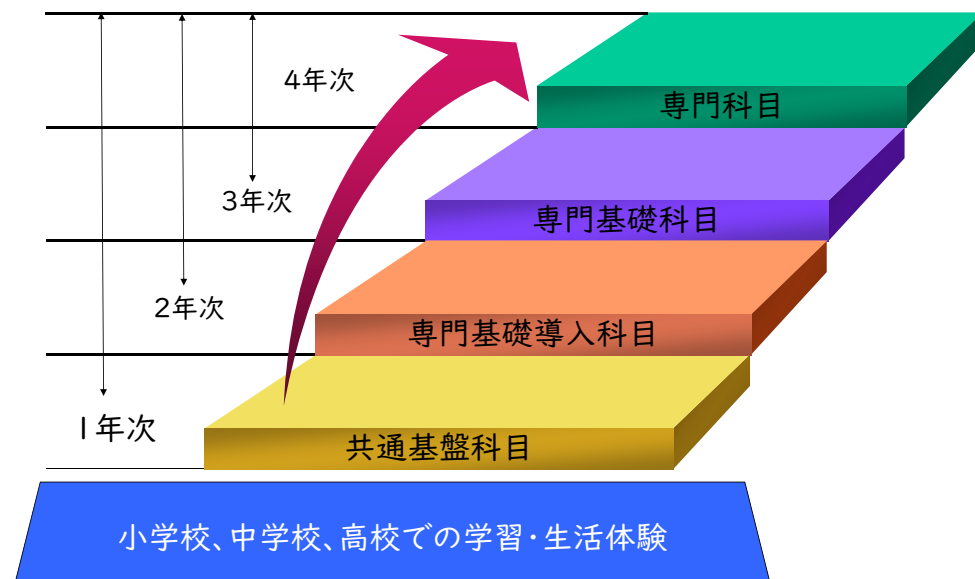
国家試験対策委員長
田代 誠

1. 看護師国家試験の概要

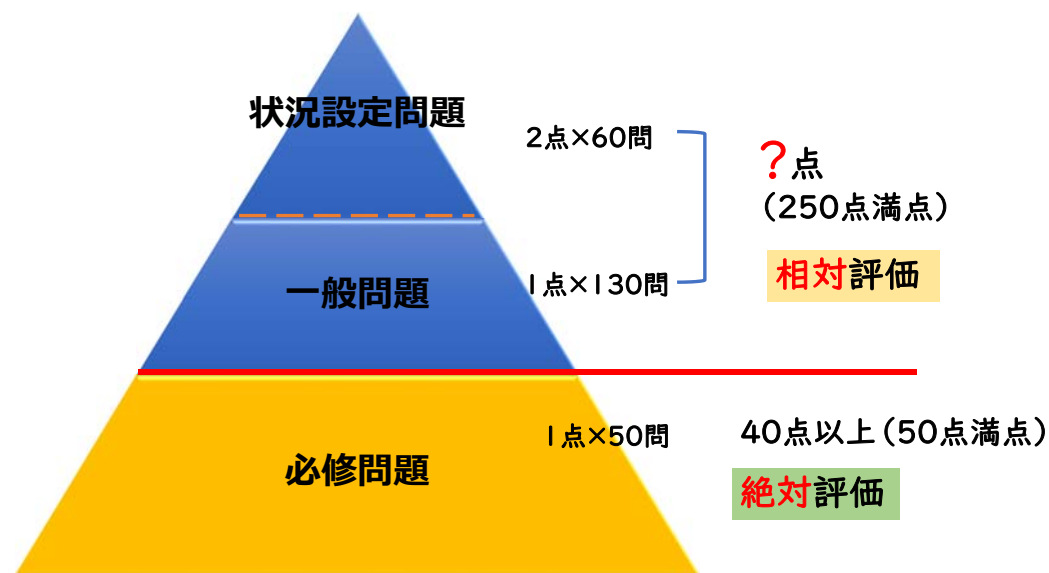
- 看護師の資格は国家資格です。
- 看護系大学や看護専門学校で必要な学修をし、卒業した者に、国家試験の受験資格が得られます。(卒業したら国家資格が得られるわけではありません)
- 年1回、毎年2月中旬に行われます。6万~6万5千人が受験しています。
- 内容は看護師として求められる最低限の知識を問うものです。
- 1年次からの知識の積み上げが大切です。

看護師国家試験 合格率(全体、既卒、新卒)

	108回 (2018年度)	109回 (2019年度)	110回 (2020年度)	111回 (2021年度)	112回 (2022年度)	113回 (2023年度)	114回 (2024年度)
合格率	89.3%	89.2%	90.4%	91.3%	90.8%	87.8%	?%
新卒者	94.7%	94.7%	95.4%	96.5%	95.5%	93.2%	?%
既卒者	29.3%	37.4%	44.4%	38.9%	36.5%	30.4%	?%

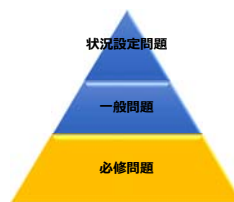


種類	必修問題	一般問題	状況設定問題
内容	基礎的な問題 80%以上の正答率 が必須である。 (絶対評価)	知識を問う問題に加え、事例問題も出題される。	看護の現場で直面し うる状況を設定し、そ れに対する理解力・ 判断力を問う。
出題数	50問×1点=50点	130問×1点=130点	60問×2点=120点
時間	・午前の部で問題120問を2時間40分(160分)で解答する ・午後の部で問題120問を2時間40分(160分)で解答する		



看護師国家試験

一般問題+状況設定問題ボーダーライン



	108回 (2018年度)	109回 (2019年度)	110回 (2020年度)	111回 (2021年度)	112回 (2022年度)	113回 (2023年度)	114回 (2024年度)
得点	155点	155点	159点	167点	152点	158点	?点
得点率	62%	62%	63.6%	66.8%	61%	63.5%	?%

第113回 看護師国家試験神奈川県内の4年制大学の結果

	受験者数	合格者数	合格率
神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科	82	82	100.0
慶応義塾大学看護医療学部看護学科	101	98	97.0
昭和大学保健医療学部看護学科	90	89	98.9
東海大学医学部看護学科	78	78	100.0
北里大学看護学部看護学科	145	140	96.6
国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科	81	80	98.8
横浜創英大学看護学部看護学科	81	73	90.1
関東学院大学看護学部看護学科	78	72	92.3
横浜国立大学医学部看護学科	92	92	100.0
神奈川工科大学健康医療科学部看護学科	54	52	96.3
松陰大学看護学部看護学科	63	48	76.2
湘南医療大学保健医療学部看護学科	80	76	95.0
湘南鎌倉医療大学看護学部看護学科	97	93	95.9

保健師国家試験

合格率(全体、既卒、新卒)

	105回 (2018年度)	106回 (2019年度)	107回 (2020年度)	108回 (2021年度)	109回 (2022年度)	110回 (2023年度)	111回 (2024年度)
合格率	81.8%	91.5%	94.3%	89.3%	93.7%	95.7%	?%
新卒者	88.1%	96.3%	97.4%	93.0%	96.8%	97.7%	?%
既卒者	31.0%	53.2%	53.0%	26.8%	56.6%	58.3%	?%

2. 本学の国家試験対策について

大学

模試に関する費用の一部負担
学習会としての教室の確保
国家試験対策室(K4号館)

看護学科

国試対策委員会によるマネジメント

厚生労働省からの情報把握
国家試験対策への取り組みガイダンス
学内教員による国家試験対策講座の調整
予備校業者との連携
低学力者への継続指導

教員

単位習得状況のアドバイス
基礎教育センター、相談室等との連携
学生生活全般指導
国試対策支援

2. 本学の国家試験対策について

大学

模試に関する費用の一部負担
学習会としての教室の確保
国家試験対策室(K4号館)

4年生

- ✓ 9月～学内学習会の開催
- ✓ 業者・教員による対策講座(9月～1月)
- ✓ 成績下位者 強化生プログラムの導入

看護学科

国試対策委員会によるマネジメント

厚生労働省からの情報把握
国家試験対策への取り組みガイダンス
学内教員による国家試験対策講座の調整
予備校業者との連携
低学力者への継続指導

教員

単位習得状況のアドバイス

1年生～

- ✓ 模試と意識付けのガイダンスの実施

国試対策支援(4年)

2. 本学の国家試験対策について

大学

模試に関する費用の一部負担

担任

- 1～3年次のGPAの低い学生(成績不良)
- ✓ 担任からの個別学習指導

ゼミ担当教員

国試対策支援(4年次)

看護学科

国試対策委員会によるマネジメント

厚生労働省からの情報把握
国家試験対策への取り組みガイダンス
学内教員による国家試験対策講座の調整
予備校業者との連携
低学力者への継続指導

学科長

個別面談

教員

単位習得状況のアドバイス
基礎教育センター、相談室等との連携
学生生活全般指導
国試対策支援

2024年度 模試等の予定

- 1年次・・・2回+業者によるガイダンス1回
- 2年次・・・2回+業者によるガイダンス1回
- 3年次・・・2回
- 4年次・・・8回(保健師課程+4回)
- 自己の学力の確認と学習の動機付け

3. 保護者様へのお願い

学習環境の調整

- 毎日の学習習慣の獲得
- 規則正しい生活リズム
- 安心して学習できる環境づくり
- 成績・GPAの確認

心身のバランス

- 身体的な不調や変化
- メンタルヘルス
- 対人関係

経済面での支え

- 参考書や問題集の購入
- 模試や対策講座など負担金
- アルバイト<学業・国家試験

- 大学および看護学科教員は、100%合格を目指して、できる限りの指導・支援をしております。
- 学生本人、保護者様、教員が力を合わせて、将来の看護職を育成していきましょう。

国家試験対策について、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

2024年度 父母説明会 ～就職関連について～

神奈川工科大学健康医療科学部
看護学科 キャリア就職委員長 前山直美

本日の説明内容

- 本学の就職支援体制
- 本学の就職支援内容
- 就職支援講座 ・ 合同病院説明会
- インターンシップ
- 奨学金について
- 就職活動に際しての学生指導内容

本学の就職支援体制

- キャリア就職委員会
(学科教員：前山・高柳)
 - キャリア就職課 (事務局)
 - 看護学科就職事務室 K4号館 416室 (阿部事務員)
 - 病院パンフレットやインターンシップ情報の閲覧
 - 就職活動に必要な書類手続き
 - 就職相談 (担任との連携の元)
- タイアップして就職活動を支援している

看護学科キャリア就職事務室のご案内



キャリア就職支援講座

- ・1年生・マナー講座（6月18日）早期体験実習前
- ・2年生・インターンシップ直前講座（5月10日）
- ・3年生・インターンシップ直前講座（5月10日）
 - ・履歴書講座（11月19日）
 - ・小論文対策講座（11月22日）
 - ・模擬面接講座（2月26日）

2024年6月22日（土）

合同病院説明会の開催（全学年対象）

目標1. 卒業生の就職活動や現場での実践体験から、今後の学生生活や就職活動に対する動機づけとする。

*214名中185名参加（参加率86.4%）

- ➡ 175名（94.6%）「国家試験に向け参考になった」と回答。
- ➡ 179名（96.8%）「就職に向け参考になった」と回答。
- ➡ 169名（91.4%）「看護師として働くイメージをもてた」と回答。

目標2. 求人情報やホームページでは得られない実習病院の情報を主体的に収集し、就職活動に活かす。

*214名中157名参加（参加率73.3%）

- ➡ 154名（98.0%）「インターンシップに参加したい」と回答。
- ➡ 144名（91.7%）「希望の病院の説明が聞けた」と回答。

インターンシップへの参加の奨励

- ・看護専門職としてのスタートとして職場選択は重要
 - ・職場選択の基準
 - ・自分自身が目指す看護、なりたい看護師像の実現（自分に合っている病院機能、看護部機能）
 - ・自分の特性を理解し、自分の力が発揮できる（自分自身をみつめた病院選び）
- ⇒インターンシップは、職場状況をリアルにつかむことができる積極的な参加を推奨している（2年生からの参加）
夏休み期間、春休み期間、随時開催

奨学金について

【主な奨学金の種類】

- ・独立行政法人 日本学生支援機構
貸付奨学金（第一種奨学金・第二種奨学金・入学時特別増額貸与奨学金）
給付奨学金
- ・神奈川県看護師等修学資金（貸与）
- ・病院奨学金：各病院により奨学金規程が異なる



卒業後のキャリアプランを考えて選択する

- ・病院奨学金の場合は、インターンシップ等に参加する。
- ・学力審査の有無/貸与額/返済義務の有無/利子など詳細をしっかりと確認したうえで活用する。

就職活動に際しての学生指導内容

採用側が求める人財 (看護部長からの聞きとり)

- ・自己理解ができていて自己アピールが出来る
- ・実習経験が話せる
- ・自分のやりたい看護が語れる
- ・目指したい看護師像がある
- ・看護職という職業に魅力を感じている
- ・患者を中心に思考できる
- ・志望動機が明確である
- ・話すときには相手の目をみて話す
- ・質問に対する回答が正確である
- ・質問に対し自分の言葉で話せる

就職活動に際しての学生指導内容

就職に向けて日頃から準備すること

1. 学業に勤勉に取り組む。
採用側が学科成績、特に**実習成績を採用基準**とする。
国家試験合格が採用要件となる。
免許がなければ就労できない。
2. 日常知を自己研鑽する。
礼儀正しさ 言葉づかい ルールが守れる 謙虚さなど
3. コミュニケーションスキルを向上させる。
4. 看護観（看護に対する見方、考え方、取り組み方）をもち、看護職としての成長に努力する。

就職活動に際しての学生指導内容

就職活動に関する諸注意

- ①採用試験⇒第1希望から受験し結果を待つ次を受験する。
原則的に併願はしない。
- ②やむをえず併願となる場合は、受験先にその旨を話しておく。
- ③内定後、**承諾書を就職先に提出した後の辞退はできない。**
- ④就職活動で判断に困った時は経験者に相談する。（教員）
- ⑤就職活動の進捗、結果報告をタイムリーに行う。
- ⑥就職活動の必要書類申し込み書の運用
看護学科就職課に提出⇒キャリア就職教員が捺印

最後に・・・

- ・看護専門職として成長していく上で、最初の職場は重要な意味をもちます。
- ・各自の夢や希望が実現でき、継続できる職場選択ができますよう大学としても支援させていただきます。
- ・就職活動は、入学年度から開始し準備していくことが必要です。
- ・保護者の皆様方の御支援を宜しくお願い申し上げます。



アンケートへのご協力をお願い

本日は、オンデマンド版の父母説明会をご覧いただき、ありがとうございました。

今後の参考にさせて頂くため、アンケートへのご協力をお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/WAJ5KFSSpq>

2024年度 父母説明会アンケート

